



(案)

<ユース世代による居場所づくりワークショップ>

第1回 居たい！行きたい！『シン・児童館プラン』を作ろう(仮題)
ジドウカン

【企画の趣旨】

企画の趣旨は、以下4点のとおりです。

1. 子ども行動計画で掲げる「子どもの意見表明・参加の促進」の具体的な取組として、ユース世代に着目し、「大人が考える居場所」ではなく、「ユース世代が望む居場所」について意見を出してもらい、その実現化を目指す場づくりのきっかけとしていく。今回は第一児童館と第四児童館を想定し、より良い児童館の在り方提案として、『シン・児童館プラン』を考えてもらう。
2. ユース世代自らの意見や提案が何かしらの形になったという“成功体験”を持ってもらい、地域や自分の暮らしに関心(当事者意識)をもってもらう。
3. ユース世代の「自立」や「自律」も重視し、自分たちの権利(こうしたい！)を単に主張するだけではなく、やりたいことを実現するために自分たちがやれることは何かも学べる場とする。
4. 将来、ユース世代の自律・自立的な取組を応援する“大人のサポーター”にもユース世代の意見や提案を聞いてもらい、「大人は、ユース世代のやりたいことをどのように支援できるか」を考えるきっかけにもつなげたい。

【企画概要】

実施時期	2024年7月～8月頃の土曜日(2回実施)
参加者	岩倉市在住在校のユース世代(中学生・高校生)を想定。おおむね30名程度。 ※小学生に比べ行動範囲も広がり、さらには、働くことも身近に迫り、少しずつ大人に近づいてきたユース世代の視点を反映させる。
場所	1回目:第四児童館 2回目:第一児童館
プログラム	①子どもたちの居場所について、実態把握を行う ②子どもたちの居場所について、ニーズ(理想の居場所)を把握する ③子どもたちの視点で「シン・児童館プラン」を作ってもらう